

13年度国民健康保険料率について

1. 保険料率

		所得割	均等割額	平等割額	賦課限度額
		%	円	円	円
医療給付分	H25	8.33%	26,040	19,500	510,000
	H24	8.38%	26,220	19,680	510,000
	比較	-0.05%	-180	-180	0
後期高齢者	H25	2.89%	8,520	6,360	140,000
	H24	2.88%	8,460	6,300	140,000
	比較	1.00%	60	60	0
介護給付費分	H25	2.68%	13,680		120,000
	H24	2.68%	13,680		120,000
	比較	0.00%	0		0

4人世帯で所得の 2割を超える保険料の継続

今年度の寝屋川市の国民健康保険料の料率が決まり、6月中旬に納付書が送付されました。保険料率は、医療分では、所得割が0.05%引き下げ、均等割、平等割りとも180円の引き下げとなりました。しかし、後期高齢者支援金分で0.01%引き上げ、均等割、平等割りとも60円の引き上げになり、全体としてもごくわずかの引き下げとなりました。4人世帯(40歳以上の夫婦、子ども2人)のモデルケースでは、年間130

13年度国民健康保険料

わずかな引き下げ

0円引き下がったものの、保険料は所得の21%で依然所得の2割を超える高い保険料が継続しています。また、モデルケースでは、枚方市と比較して約6万円高い状況となっています。

保険料減免

制度活用を

国保料の高騰を招いた元凶は、自治体への国の支出金の削減です。年金生活者や失業者が加入する国保は、もともと適切な国庫負担なしに成り立たず、国庫負担の還元、拡充が求められます。同時に、寝屋川市

2. 所得200万円の4人世帯での保険料比較 (円)

	所得割	均等割	平等割	合計
H25年度	232,130	165,600	25,860	423,590
H24年度	232,798	166,080	25,980	424,858
比較	-668	-480	-120	-1,300

今年度の保険料の比較表
(所得200万円4人世帯)モデルケース

寝屋川市	423,500円	差額
枚方市	362,500円	-61,000
守口市	475,400円	51,900



日本維新の会の橋下徹共同代表(大阪市長)、松井一郎幹事長(大阪府知事)

市長)、松井一郎幹事長(大阪府知事)は6日、安倍晋三首相、菅義偉官房長官と会談し、大阪八尾空港で米軍の垂直離着陸機オスプレイの飛行訓練を受け入れる考えを伝え、安倍政権は検討に入ると回答しました。大阪府民の意見、地元八尾市の了解もなしに勝手に危険なオスプレイを受け入れるなど言語道断、断じて許すわけにはいきません。八尾空港は普天間基地と同様に住宅密集地にあり、面積は普天間基地の7分の1です。また、周囲1キロ内には小中学校、支援学校が11もあり、米軍は全国7ルートで高度60mで飛ぶ訓練をすると言います。この低空訓練は日本の法律では認められていません。四国から和歌山に抜ける「オレンジルート」での訓練が想定されていますが、和歌山県も猛反対です。橋下氏が、在日米軍に風俗活用を提案し、内外から強い批判をあびたのを取りつくり道されてはいますが、誰も承知していません。誰にも使ってくれていないなど、認めるわけにはいきません。撤回すべきです。



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2470

太田 とおる
高柳2-49-2
TEL.826-1664
田中 ひさ子
国松町10-36
TEL.823-1714
中林 かずえ
宝町4-33
TEL.839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
TEL.823-5947
松尾 信次
下木田町12-6
TEL.821-7427

重度の受け入れに不安の意見

あかつき・ひばり園 運営形態の見直し等検討会



「療育水準の維持」というが

いつ誰が判断するのか

3日、第3回「あかつき・ひばり園(以下「あひ園」という)の運営形態の見直し等検討会」が開かれ18人が傍聴しました。

会議に先立って、保護者らが、①正確な議事録の作成 ②詳しい資料の提出を求め、市は要望に応えるとした。

この日は、市が検討課題とした4項目の内、2.「施設機能及び療育水準の維持について児童発達支援センター、療育相談所、歯科診療所」について話し合われました。

保護者が「市は療育水準を維持すると繰り返すが、いつ誰が評価するのか」と質問。

市は「外部の第3者委員の形をとるのか、検証の項目も課題」と繰り返しました。

保護者などの意見の一部を紹介します。

●医療的ケアの必要な重度障害児の受け入れについては、あひ園の専門職が関わり、5者協議会で受け入れを決めてきた経過がある。今後と同様に受け入れができるのか。例えば、吸引、栄養注入、人工

呼吸器の子どもなどが同じように受け入れてもらえるのか。

市は「医療的ケアの必要な子どものリスクの検討をして、通える体力などその子に依じてどこまで出来るのかを慎重に検討しながらやってきた。今後同じ」と返答。

それに対して、保護者は「法人は、慎重に検討したが無理ではない。というかもしれない。市は引き継ぐと言うが、受け入れの基準や形が見えず、気持ちだけに聞こえ矛盾を感じる」と述べました。

指定管理者制度にする

メリットが見えない

●引き継ぎでベテラン市職員が一人残っても、まわりが法人の新しい職員ばかりになった時「同じようにする」と言われても、話を聞けばきくほど不安になる。26年度から始めるというのに、これからの検討課題が多すぎる。

「保護者が我が子のことだけでなく、これから産まれてくる子どものために頑張ってくれていると感じました。納得のいく方向で聞いてほしい。」と。

くほど、市は子どものことを考えて決めたのが疑問。あひ園は公設公営でしかないと思っただけでなく、これからのために頑張ってくれていると感じました。納得のいく方向で聞いてほしい。」と。



中林 かずえ

エアコンで世界的に有名なダイキン工業の非正規労働者と家族、支援者のたたかい(高裁で係争中)を描いた演劇が、6月21、22日クレオ大阪であります。

青年時代に一緒に活動した友人が出演しますので観ればと思います。

偽装請負の是正を指導されたダイキンは、派遣労働者を直接雇用します。

とこの日が晴れて「社員」になった2年半後、2